

君津中央病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査 (倫理委員会承認番号：500、582、651、756、819、865)
当院の研究責任者 (所属)	医務局脳神経外科 早坂典洋
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"> ●研究責任者 国立循環器病センター 循環器病対策情報センター長 飯原弘二 ●その他の共同研究機関 日本脳神経外科学会の教育訓練施設、日本脳卒中学会の認定研修教育施設、一次脳卒中センター、日本神経学会の教育施設・准教育施設及び日本循環器学会の循環器研修施設・研修関連施設のうち、本研究の参加に同意する全国の施設
本研究の目的	今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科及び共通のリスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とする。
調査データの 該当期間	2018年3月～2031年3月
研究の方法 (対象となる方)	該当期間に当院で脳卒中および脳神経外科関連の治療を受けた方
研究の方法 (使用する情報)	生年月(日)あるいは年齢、性別 自宅郵便番号（研究利用前に事務局において下4桁の削除） 発症年月(日)、入院年月(日) 入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介

	<p>入院前 modified Rankin Scale(mRS) スコア</p> <p>画像診断、検査〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査、脳波〕</p> <p>DPC に反映されている基礎疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、他臓器の腫瘍など）および合併症、該当疾患に対する治療内容</p> <p>リハビリテーションの有無</p> <p>退院年月(日)、退院先</p> <p>退院時 DPC コード</p> <p>退院時 ICD コード</p> <p>看護必要度</p> <p>カルテデータ（退院サマリー・看護サマリー・診療情報提供書・診療記事・看護記録）</p>
<p>資料・情報の他機関 への提供</p>	<p>上記の診療情報を、次の研究機関と共有して、共同で研究を進めます。取得された診療情報を業務委託先である健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）で集積し、必要な情報を抽出した解析用データセットを作成し、研究責任者および分担研究者に配布いたします。</p> <p>①データ解析のため、データベースにアクセスする担当者および所属</p> <p>有村公一、下川能史、黒木亮太 九州大学 脳神経外科</p> <p>西村中 九州大学大学院医学研究院脳神経外科</p> <p>黒木亮太 福岡徳洲会病院 脳神経外科</p> <p>黒木愛 福岡市立こども病院 脳神経外科</p> <p>嘉田晃子 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター</p> <p>松本省二 藤田医科大学 脳卒中科</p> <p>竹上未紗 東京大学 医学部・医学系研究科 公衆衛生学分野</p> <p>賀末泰之、今岡幸弘 熊本大学病院 脳神経外科</p> <p>福田仁 高知大学 医学部 脳神経外科</p> <p>丸山大輔 京都府立医科大学 脳神経外科</p> <p>松重俊憲 広島市立安佐市民病院 脳神経外科</p> <p>板谷智也 宮崎大学 生活・基盤看護科学講座 教授</p>

	<p>平和也 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護分野</p> <p>田中晴佳 神戸市看護大学 健康生活看護学領域 精神看護学分野 准教授</p> <p>小橋昌司 兵庫県立大学 先端医療工学研究所長</p> <p>斉藤敦志 弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座 教授</p> <p>福田俊一 京都医療センター 脳神経外科診療部長</p> <p>大間々真一 岩手医科大学附属病院内丸メディカルセンター 総合診療科</p> <p>吉田和道 滋賀医科大学 脳神経外科学講座 教授</p> <p>三浦克之 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 教授</p> <p>②業務委託</p> <p>健康保険医療情報総合研究所（PRRISM） 代表取締役社長 山口治紀</p>
個人情報の取扱い	<p>お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。</p> <p>本研究で得られた臨床情報およびそのデータの収集方法を将来、脳卒中や循環器疾患の研究ために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合があります。オプトアウトの文書は国立循環器病研究センター公式サイト (https://www.ncvc.go.jp/) の『実施中の臨床研究』ページに公開いたします。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究費 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(H28-循環器等-一般-O11) ・厚生労働科学研究費 臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業(19AC1003)

	<ul style="list-style-type: none"> • 令和2年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）（18H02914） • 令和2年度循環器病研究開発費（20-4-10） • 令和2年度日本医療研究開発機構 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業 • 令和3年度厚生労働科学研究費 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業（R3-循環器等-一般-O11） • イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社寄付金より負担されています。 <p>本研究に関する必要な経費は、厚生労働科学研究費、科学研究費助成事業、日本医療研究開発機構研究費、環境研究総合推進費、イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社寄付金で負担しています。ただし、イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社は寄附講座運営のために資金を拠出するもので、イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社の意向が本研究の成果およびその解釈に影響することはありません。</p> <p>J-ASPECT データの入手に関しては、健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）に業務委託がなされています。</p>
お問い合わせ先	<p>国保直営総合病院君津中央病院</p> <p>脳神経外科 早坂典洋</p> <p>Tel：0438-36-1071（代表）</p>
備考	<p>*J-ASPECT 研究</p> <p>本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、研究班ホームページ（J-ASPECT Study、https://j-aspect.jp）にて随時公開しております。</p>